

東北地方石油懇談会 2023年11月

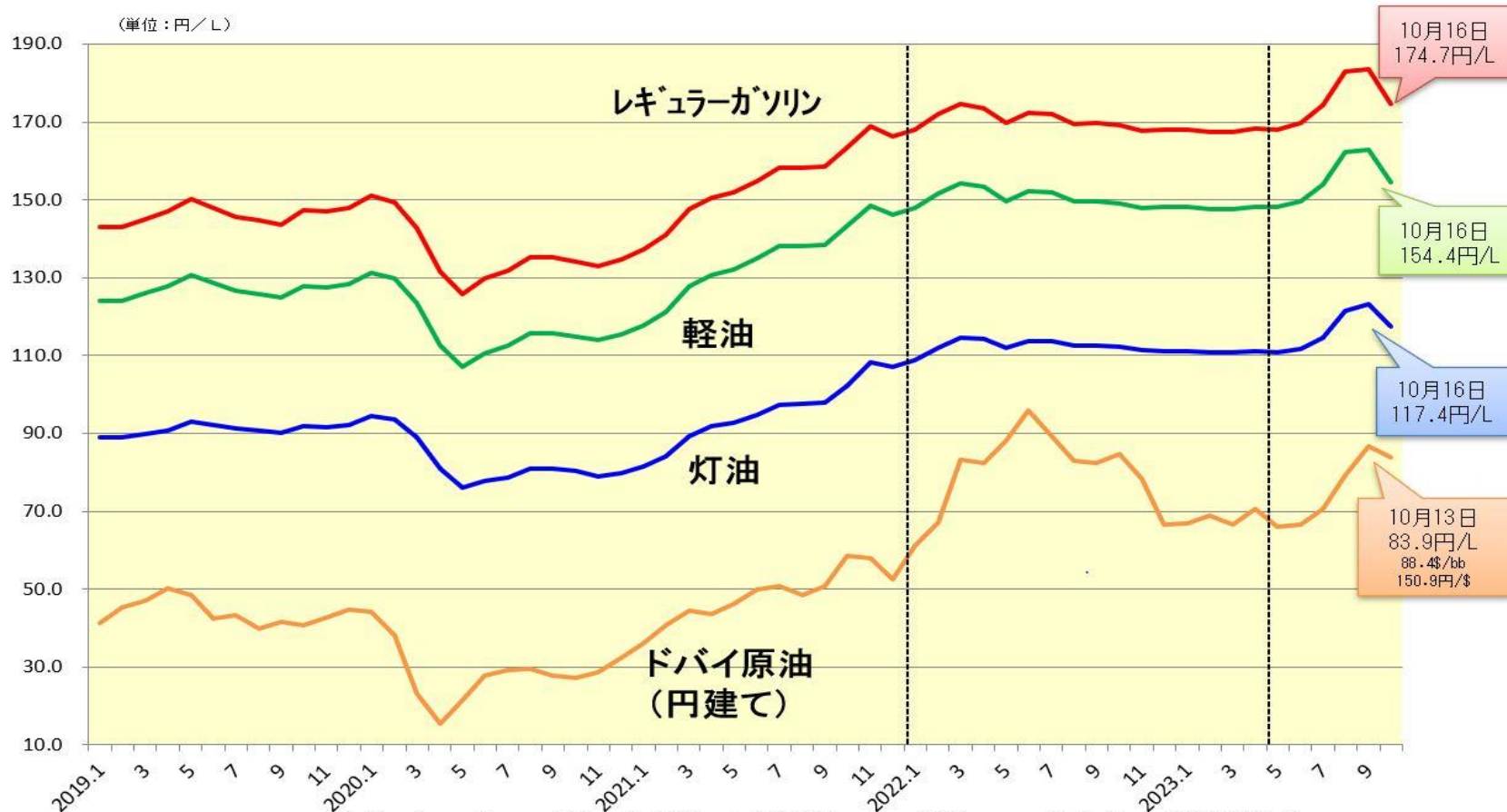
わが国の灯油価格について

一般財団法人日本エネルギー経済研究所

石油情報センター

1. 石油製品価格（SS店頭）と原油輸入価格の推移

- 国内石油製品価格は、従来、原油輸入価格にほぼ連動して決まっていたが、補助金支給により、原油輸入価格が高騰しても、補助金効果で安定的に推移。
- 本年6～8月は一時的に上昇したが、9月からの補助金延長・拡充で下落中。
- 本年8月28日、ガソリンは史上最高値を更新したが、灯油は更新にあと3.4円。

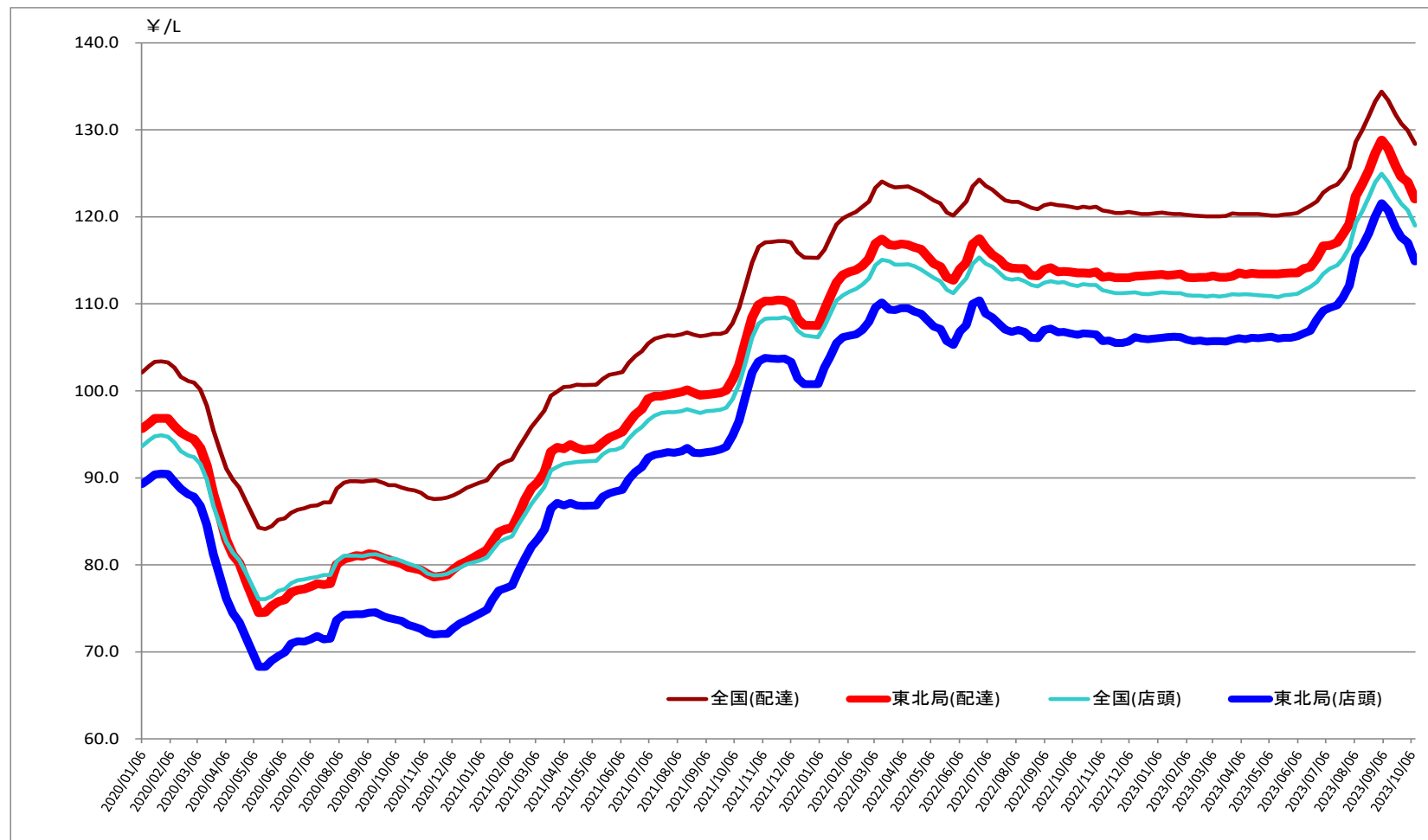


（出典）レギュラーガソリン、軽油、灯油（店頭）：「石油製品価格モニタリング調査」

ドバイ原油：日本経済新聞社調べ等

2. 東北地域の灯油 S S 小売価格の推移

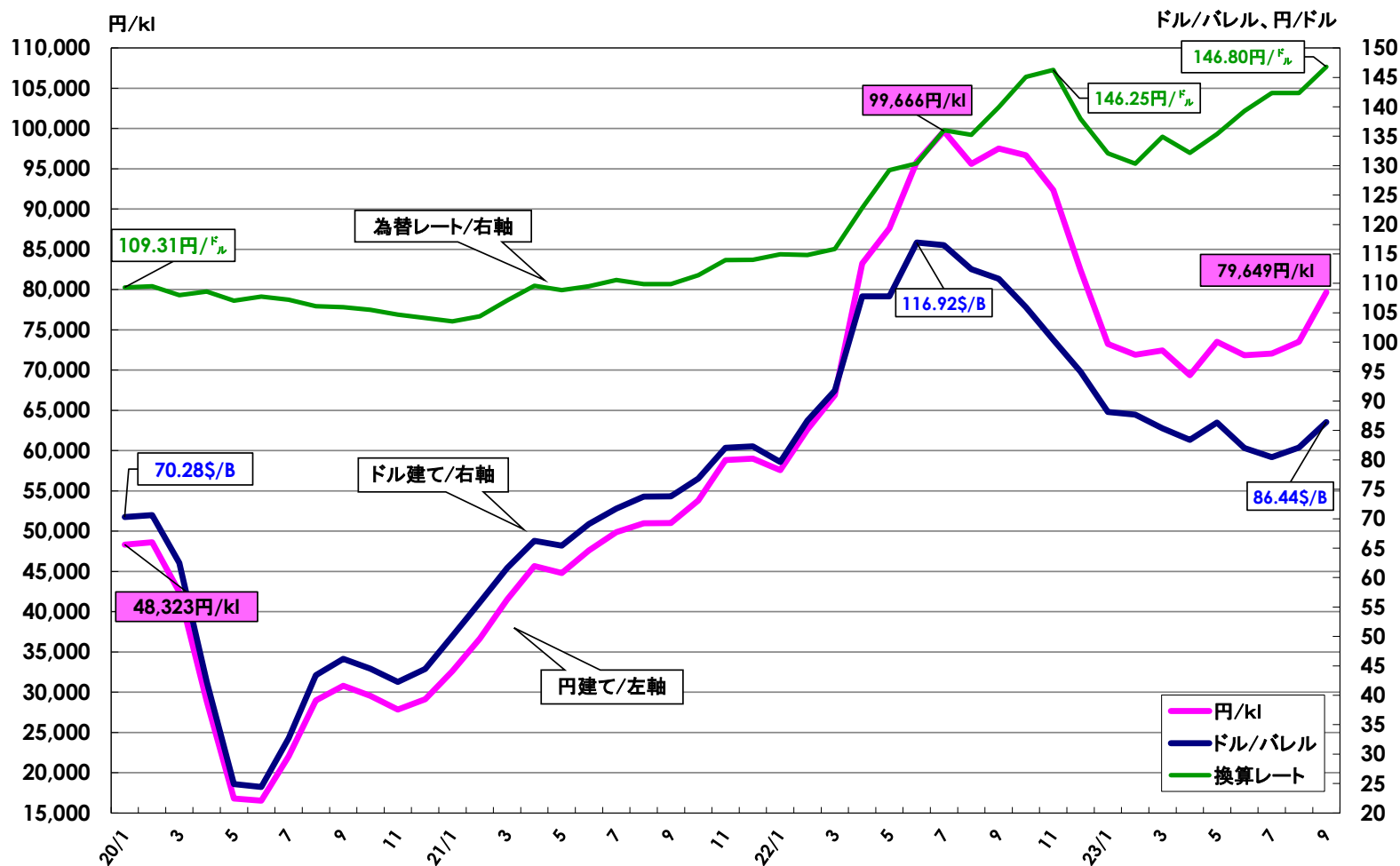
東北地域の灯油小売価格は配達・店頭とも、全国平均より5円以上安い水準で推移
昨年から本年5月までは、補助金効果で、ほぼ横ばいを続けた



出所：資源エネルギー庁調査より石油情報センター作成

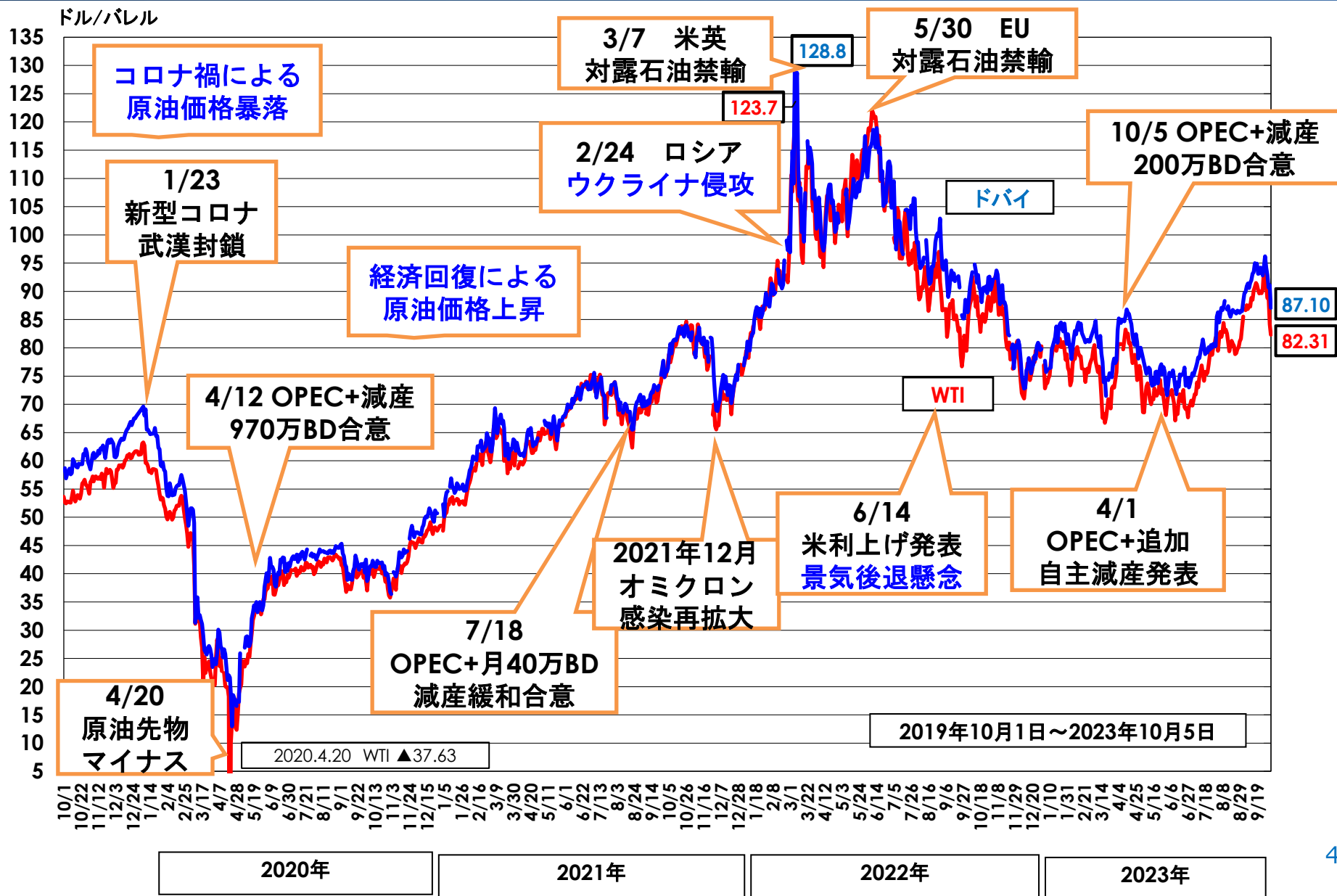
3. 原油価格における為替の影響

円建て原油輸入価格は、2022年3月以降、急激な円安で、ドル建て原油価格の上昇に拍車をかけた。なお、ウクライナ侵攻直前、1\$=115円



(出所) 通関統計等より石油情報センター作成

参考：最近の原油価格の推移



参考：今後の原油価格の見通し

- 景気の底堅さを反映し需要は増加、他方、産油国の減産継続で当面の需給ひっ迫観測が強く、値上がりを予想する向きが多い
- パレスチナ情勢の中東産油国（イラン/サウジ等）への波及懸念

